

zoom開催

3/23 日

13:00 - 15:00



発達作業療法×ICT

令和元年度に閣議決定がされたGIGAスクール構想において、令和5年度までに児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指すこととして、多くの生徒の手にICT教育の端末が届いています。また、これまでも発達作業療法におけるICT活用についてはテーマに上がっております。今回、みなさまと改めてICT支援についての様々な実践や知識を共有したいと思います。

小児におけるICT支援について～種類や導入、考え方～

小玉武志 先生

北海道済生会みどりの里 通所事業支援室 室長療育医療技術室／企画調整室 課長
NPO法人カケルとミチル 代表理事

プロフィール

認定作業療法士。重度の障害を持つ方の入所施設へ勤務。
2021年に法人内に地域支援の事業所を立ち上げ、運営管理を行う。現在は、地域で暮らすお子さんへ医療分野での支援に加え、自身が立ち上げて参画した通所事業所での支援や、学校や幼稚園などの訪問支援にも携わっている。2015年に博士号を取得した後は、非常勤講師として作業療法学生への教育にも従事している。



神奈川県におけるICTの支援の実際やeスポーツについて

加藤 直樹 先生

横浜医療福祉センター港南リハビリテーション課

プロフィール

2009年、社会福祉法人恩賜財団済生会支部 静岡済生会静岡医療福祉センターに入職。2018年より、社会福祉法人十愛療育会 横浜医療福祉センター港南に勤務し、現在に至る。肢体不自由や重症心身障害、発達障害のある方への作業療法に、幼児期から成人期まで幅広く携わる。福祉用具やICTを用いた支援にも力を入れている。



神奈川県士会員1,500 円
他都道府県士会員2,000 円
神奈川県・他県士会非会員2,500 円
作業療法学生1,000 円

申し込みは県士会HP
またはPeatixから

神奈川県作業療法士会
地域リハビリテーション部 こども班
担当：増子・戸塚

